

2015年度防衛省沖縄関係経費 (単位: 百万円、%、▲はマイナス)

事項	2014年度 予算額	2015年度 概算要求額	対前年度 増△減額	対前年度 伸率
防衛施設安定運用関連諸費				
1. 基地周辺対策経費	<16,908> 18,006	<18,655> 17,271	<1,747> ▲734	<10.3> ▲4.1
住宅防音	<6,333> 6,276	<6,533> 6,476	<201> 200	<3.2> 3.2
周辺環境整備	<10,576> 11,729	<12,122> 10,795	<1,546> ▲934	<14.6> ▲8.0
2. 補償経費等	<100,301> 100,301	<101,176> 100,868	<875> 567	<0.9> 0.6
(1) 施設の借料	97,998	98,612	614	0.6
土地等の借料	97,339	97,823	484	0.5
その他(道路使用等)	659	789	130	19.8
(2) 漁業補償	929	998	69	7.4
(3) その他の補償等	<1,374> 1,374	<1,566> 1,258	<192> ▲116	<14.0> ▲8.4
小計	<117,210> 118,307	<119,831> 118,139	<2622> ▲168	<2.2> ▲0.1
在日米軍等駐留関連諸費				
1. 基地従業員関係	43,716	44,956	1,240	2.8
2. 提供施設の整備	<4,371> 4,383	<7,217> 4,751	<2,846> 368	<65.1> 8.4
3. 提供施設の移設	<49> 43	<2,394> 75	<2,345> 32	<49.1倍> 73.2
小計	<48,136> 48,142	<54,567> 49,782	<6,432> 1,640	<13.4> 3.4
合計	<165,345> 166,449	<174,398> 167,922	<9,053> 1,472	<5.5> 0.9

注: 1 上段<>内は、契約ベースである  
 2 計数は、四捨五入によっているので符合しないことがある

減額となった。  
 軍用地料は単価が1・35%上がったが、15年度末にキャンプ瑞慶覧の西普天間地区が返還されることから、4億8400万円の増額にとどまった。  
 沖縄市のサッカー場からドラム缶が見つかった問題で、ドラム缶を処理し、原状回復する費用として約2億円を盛り込んでいる。

提供施設の移設費では宜野湾市の市道11号整備に関連し、基地内の巡回道路を移動させる経費として約24億円を計上した。  
 住宅防音の費用は約2億円増の64億7600万円。  
 周辺環境整備費は沖縄カトリック小(宜野湾市)の防音工事が完了したことや、牧港補給地区北側進入路の購入補助金の支出が終了したため、9億3400万円減額となった。

5千万円⑤隊舎改修8億円など。そのほかホワイトビーチの汚水処理施設整備費に20億円を計上した。

防衛省

提供施設整備 8.4%増

防衛省の2015年度予算概算要求で、沖縄関係経費は14年度当初予算比14億7200万円(0・9%)増の1679億2200万円

円となった。住宅防音工事などの基地周辺対策経費、提供施設の整備費などが数値を押し上げた。  
 在日米軍駐留経費負担(思いやり予算)のうち、提供施設整備費は3億6800万円(8・4%)増の

47億5100万円で11施設の28事業を実施する。  
 普天間飛行場の施設整備費の内訳は①管制塔と消防署の発電機更新2億6千万円②給電設備の改修1億7千万円③雨水排水施設整備1億2千万円④汚水管改修